

世界ローターアクト週間にちなんで

ローターアクト委員会 委員長
池田 佳弘 (大阪梅田RC)



毎年、世界中のローターアクターとロータリアンは、1968年の最初のローターアクト・クラブ創立を記念し、3月13日の週に世界ローターアクト週間を祝っています。

当地区でも毎年、3月13日に近い土曜日または日曜日に「世界RACデー」というローターアクトの地区行事を開催しております。

近年の当地区の「世界RACデー」のテーマとしては、ローターアクトの目標がいくつかありますが、その中の「地元地域及び世界中のニーズ、問題、機会に対する知識や理解を深める」という部分に重きを置いた活動が多くなっております。

昨年度(2011-12年度)も、そういった観点から東日本大震災の被災地である第2520地区の気仙沼南RACより被災地で頑張っているローターアクターをお招きし、講演並びにパネルディスカッションを行い、地震、津波の経験を語って頂き、さらに今後ローターアクターが出来る支援などについて話し合いました。

また、第2部ではボーイスカウト経験のあるローターアクター指導の下、災害時の緊急のトイレ(段ボール箱製)の作り方などを学びました。

そして今年度は、3月10日(日)13時より此花区民センターにおいて、「国際理解」をテーマとした行事を予定しております。

本来「世界RACデー」は、ローターアクターに限定されず、ロータリアンはもとよりRCに関係のない一般の市民の方々にも参加して頂けることを予定しています。ただ、なかなか簡単に一般市民の方々をお招きするのは難しいようです。

少しでもRAC活動に理解をして頂けるよう、ロータリアンの皆様の「世界RACデー」への参加を、今年度に限らずお待ちしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。